

「真心をつくす」

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB.



2014 年(平成 26 年)12 月 3 日(水)
第 1209 回 例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会

(志賀 義任副 SAA)



●開会点鐘

(伊藤 満雄会長)

●ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

●本日のお客様



會澤裕晃様
(東京立川ロータリークラブ)

●会長の時間

(伊藤 満雄会長)



本日は古希のお祝いということで、おめでたいので、神社の「鳥居」のいわれについてお話をしたいと思います。

日本で一番大きな鳥居は、おそらく靖国神社の鳥居ではないかと思えます。鳥居は、神社の入口に

建つ二本柱の上に笠木を渡し、その下に貫を入れたもので、鶏の止まり木を表したものであります。昔、天の岩戸にこもった天照大神が、岩戸からお出ましになる時、高天原に日の光がさし、鶏が一斉に「コケッコウ」と鳴き、悪霊やわざわいの満ちた夜の間に終わりを告げ、明るい朝の光を呼びおこしました。この鶏こそ、神様の先導役として神社にぴったりであるとして、鳥居が建立されたと言い伝えられています。

●幹事報告

(小島 弘明幹事)

12 月 1 日(月)クラブ代表者会議へ伊藤会長が出席をいたしました。

●卓話「人生を振り返る～古希を迎えて～」

佐藤 義弘会員・内藤 征一会員

本田 征勇会員・西野 勝介会員

★佐藤 義弘会員



私は、昭和 19 年 4 月 7 日生まれで、父親が福島県会津の出身で、母親が福島県伊達の出身です。先に東京に来ておりました親戚を頼って東京に来て、その親戚の紹介で福島県出身同志が結婚したそうです。昭和 17 年から昭島に

居りまして、私は朝日町で生まれました。

昭和 19 年生まれの有名人は、小椋佳、子門真人、荒木一郎、田中真紀子、江守徹、黒沢年男、柴田勲、高橋英樹、草野仁、横山やすし、園まり、などです。私と全く同じ生年月日の方は、ドイツのシュレーダー首相です。そしてこれもまた偶然なのですが、2009 年～2010 年にグループ幹事として、西野ガバナー補佐と多摩中 11 クラブを訪問した時に、小金井さくら RC の当時の会長でいらっしゃった原田さんが、私と全く一緒の生年月日でございました。これもロータリーに入っているが故の繋がりだと思います。

昭和 19 年というのは戦争の末期です。生まれたばかりですから、戦争の記憶はありませんが、昭島は焼夷弾をかなり落とされて、うちを含めて、隣も焼けてしまい、亡くなった方もいるそうです。また、空襲警報が鳴った時には、母は私をおぶって、多摩川の河原の方まで逃げたそうです。戦後 6 年くらいは、衛生状態が非常に悪く、蚤、シラミは日常茶飯事でした。赤痢や腸チフスなどの伝染病も流行っておりまして。夜は蚊帳を吊って、DDT を布団に撒いて寝た記憶があります。小学校 1 年くらいまでは、蠅取り競争というのがあり、自分の家で捕った蠅の数を競いました。人生を振り返ってみますと、幼少の頃が、川や野原で遊んだりして一番楽しかったように思えます。

社会人となってからは、昭和 46 年に不動産業を始めました。翌年が田中角栄の列島改造ブームで、株も土地もどんどん上がり、その後の第四次中東戦争のオイルショックで石油価格が上がり、物価が上がりました。地価が上がったことは、不動産業にとっては追い風になりました。買えば売れる、売ったら買うで儲かりました。でも結局、バブルがはじけて、元の本阿弥ということになりました。昭和 48 年頃は、立川あたりでもキャバレーやバーが軒並み建ちまして、通った記憶もあります。バブルがはじけてから昭和 60 年くらいまで不動産の景気が悪い

状態が続き、昭和 60 年から平成元年くらいまでがすごいバブルになりました。これは、プラザ合意で日本が円高になり、金融緩和、財政出動で金余りになって、そのお金で企業が土地を買い、土地が動きました。この時は、通常の売上げの 3 倍くらい増えました。しかし、これもバブルでしたので、はじめて借金が残りました。バブル崩壊から今に至るまでは、失われた 20 年と言われております。

以上が、私の職業的に歩いてきた道なのですが、今まで生きてこられたのは、自分の力だけではなく、困っているその時々で恩人が現れて救われたためです。人との縁、出会いは大切だと思います。

私がロータリーに入会したきっかけは、平成 3 年のことです。恩人の葬儀を西野さんが仕切っておりまして、その時に誘われまして、入会しました。入会后 1 年くらいは、会報、出席などをやって、これはつまらないなと思ひ、辞めようかなと悩みました。そんな時に、村野さんに飲み会に誘っていただいて、良い雰囲気を作っていたので、感謝をしております。

私のこれまでの 70 年の生き方としては、上杉鷹山の「なせば為る 成さねば為らぬ 何事も 成らぬは人の なさぬなりけり」を肝に銘じてまいりました。

★内藤 征一会員



たいした人生は歩いておりませんので、自分の話をして面白くないと思いますが、先ほど、時代の流れは佐藤会員がお話してくださいましたので、私は手短かにやりたいと思います。私は栃木県の宇都宮で生まれ育ちました。小学

3 年生で立川 1 小に移りました。学校が大きく、生徒もたくさん居て、言葉も全然通じず、辛い思いをしました。小学校時代を考えると、自分が今この立場にいる事が不思議です。

私が思うに、人生には 3 つの節目があるのではないかと思います。その節目で、それぞれが進む道を決めるわけですが、良い方向に選択をすると幸せな人生が送れるのではないかと思います。ここにいらっしゃる先輩方は素晴らしい選択をして、この場にいます。また、我々の年下の方は、これからまだ選ばなければならない事があるのだと思います。因みに、私は、3 つ目は良い選択をしたのではないかと思います。

★本田 征勇会員



私は、戸籍上、昭和 19 年 9 月 7 日生まれとなっています。戦時中なので、出生届もいい加減だったようで、親からは、本当は 7 月 28 日生まれだと聞かされました。世の中はえらく大変な時代だったのだと思います。私の名前は征勇

ですが、この子には勇ましく出征してもらいたい、ということ叔父さんに付けられました。私の父親は戦死しております。フィリピンのほうで、船が魚雷に当たったそうで、遺骨も何もありません。その後、立川のほうへ縁があって来まして、母が再婚をし、養父に成人まで育てられました。その頃は、私も反抗期でひねくれておりましたが、今思うと、人の子をよく育ててくれたと感謝をしております。

高校を出て、就職をして働きながら夜間にも通いましたが、麻雀を覚えてはまってしまい、ほとんど毎日麻雀をやっていました。今でも指にタコが残っているくらいです。ある時、商業高校の時の友達に、八百屋さんがいて、売上げを入れたざるからお金をガバッと取ってキャバレーやバーに飲みに行くのを見て、サラリーマンをやっていたのでは、こういうことは出来ないと思ひ、昭和 45 年に今の商売を始めました。5 坪くらいの工場を建てて、コツコツとやってきて、なんとか対等に遊べるように稼ごうと頑張りました。

今まで 45 年間、この仕事を山あり谷ありでしたが、何とか無事にやってきました。

70 歳から先は、何十年もあるわけではありませんから、いかに世の中に迷惑をかけず、楽しく過ごさせていけるのかを考えています。母親が 93 歳で介護施設に入っているのですが、親より先に死ぬわけにはいかないので、摂生して最後は死に水をとってやりたいと思っています。

ロータリーの方々と巡り合えて 24 年くらい経ちますが、楽しくお付き合いしていただいて誠にありがとうございます。

★西野 勝介会員



私が、昔、郷地町の住職に「人生 50 から 80 の 30 年はあつという間で何の記憶もない」と言われ、それを時々思い出すのですが、確かにそうであると思います。歳を取ってくると、感激や感動が薄れてしまいます。では、どうしたら

記憶に残るのか、と言うと、満足感や達成感のある事をすれば、50 を過ぎてても記憶に残るのではないかと思います。

子供の頃からの事をお話すると、まず小学 2 年の時に、担任の先生が通信簿に一言コメントを書くわけですが、その一言が「授業中、私語が多く落ち着きを欠く。ただし、平均点は逃さない。」でした。この一言は、ずっと先の人生を見据えて、先生は言ったのかなと思います。

二十代になりましたら、親の跡継ぎの仕事を一所懸命やりまして、正直に言ってもものすごく儲かっておりました。45 年前の話になりますが、25 歳の時に、フォルクスワーゲンの中古のカブトムシから、クラウンの 2 ドアハードトップに乗り換えて、ゴルフ場に行くようになりました。その最高に有頂天になった時に、「上には上がある。」と親に言われ、そういうものかと肝に銘じました。27 から 28 の時に、ゴルフに凝った私は、八王子と五日市の会員権も買い、毎日のようにゴルフをしていました。

そして、30 歳で結婚をしたら、ゴルフはスパッとやめてしまいました。すると、親に「子供は産んでおけば育つ」と言われたものですから、年子が 3 人、本当に産まれてしまいました。ですから 3 年連続、入学式、卒業式、成人式がありました。3 人が大学生の時もあり、金銭的にも大変なのですが、人生そういう時は一番頑張るし、働けるものです。

45 歳の時に、身体も人任せになって落ち着きましたら、周りの人に自治会長をやってくれとか、自民党の役員をやってくれと頼まれるようになりました。ロータリーも昭島中央が出来るからと、チャーターメンバーに誘われました。熱心に誘われ、毎週、新しい気持ちで持てるということ、平等の世界で、どんな偉い人にも「やあ。」と声を掛けられるということを知り、これは、今までの世界とは違う所に入れて、勉強にもなるかと思ひ入会し

てから、あっという間に 25 年が経ってしまいました。下田会長の時には、幹事もさせていただき、ガバナー賞もいただきました。その後、自分が会長になった時に、今までになかった事をしようと、荒川会員のお父さんと中野会員とでうちの裏の川に蛍を飛ばそうと、色々やってくださって、蛍が飛び頃に、せっかく飛ぶのなら、という事で蛍のタペを開きました。それから、田中町の老人ホームの愛全園へ、地区補助金でマッサージチェアを贈呈すると同時に、バンドを呼んで演奏をしてもらいました。

その後に経験したガバナー補佐は、生涯忘れ得ない満足感と達成感でした。年間、諸会合で 130 回ほど出ました。これは、うちのクラブは入れない数です。本当に人生の宝になりました。その時の久邇ガバナーは天皇陛下の甥で、昭和天皇の従兄弟、お嬢様は皇太子のお妃候補だった方です。そんな方でも、ロータリーなら気楽に「久邇さん、久邇さん」とお話が出来ます。

皆さんも満足感と達成感が得られるように、精一杯、活動をしていただければ、70、80 になった時に良い思い出が出来るのではないかと思います。

●ニコニコ BOX 発表 (石岡 孝光親睦委員長)

◎佐藤会員・滝野会員・内藤会員・本田会員・西野会員
貴重な時間に我々古希のお祝いをしていただきありがとうございます。これからもよろしく願います。

◎伊藤会長
五名の古希を祝して

◎下田会員
古希を迎える皆様おめでとうでニコニコします。

◎平畑会員
古希を祝して。誠におめでとうございます。

○小島幹事
古希を祝して！！おめでとうございます。

○志賀会員
古希を迎えた皆さんをお祝い致します。

○若杉会員
男は、古希を迎えてからですね、パワフルに。

・石岡会員
古希を迎えた皆様を祝して。

・岩本会員
五名の古希の皆様を祝して。

・犀川会員
古希おめでとうございます。(バッチを忘れました)

12 月結婚記念

池田会員・石岡会員・今藤会員・大久保会員・須田会員

●委員会報告

※伊藤 満雄会長

指名委員会を発足いたしますことをご報告いたします。

※渡邊 信義副幹事

指名委員会のメンバーを発表いたします。

伊藤満雄 会長
今藤貫徳 会長エレクト
平畑秀東 副会長
小島弘明 副幹事
西野勝介 SAA
渡邊信義 副幹事 (指名委員会 委員長)
内藤征一 歴代会会長
犀川美佐緒 職業奉仕委員長
志賀義任 社会奉仕委員長
曳地義正 国際奉仕委員長
若杉司 青少年委員長
前澤外喜男 増強委員長 (A グループ)
石岡孝光 親睦委員長 (B グループ)
佐藤義弘 プログラム委員長 (C グループ)

12 月 10 日 (水) の理事会終了後、
第 1 回指名委員会を開催いたします。

※石岡 孝光親睦委員長

本日の懇親会終了後、
第 2 回親睦委員会炉辺会議をいたします。

●出席報告 (若杉 司出席委員)

会員数 45 名 出席義務会員 43 名
本日の出席 31 名 (メイクによる出席者数を除く)

●次週例会予定 (佐藤 義弘プログラム委員長)

12 月 10 日 (水)
「野球教室について」若杉司青少年委員長

●閉会点鐘 (伊藤 満雄会長)



懇親会にて、古希をお迎えの皆様へ
記念品贈呈をしました。